

# 清流の辺

令和5年6月1日  
丹波中学校 学校だより  
校長 古屋 修宏

## 舞茸祭に向けて

9月に行われる舞茸祭に向け、中学生も出店し、村に貢献しようとしています。

5月24日（水）には、中央大学から3名の学生さんが来てくれ、「ビジネスとは、マーケティングとは」というテーマで、生徒に講義をしてくださいました。

また、大変お世話になっているオオカミ印の坂本さんには、具体的な販売目標や商売の心得を指導していただきました。

当日は、生徒たちが育てた大豆でつくった味噌と原木舞茸を使った、みそ汁を販売する予定です。

6月26日のお昼（10時45分ごろ～）には、丹波山村道の駅にて、みそ汁のプレ販売を行う予定です。お時間がありましたら、ぜひお越しください。



中央大学生の話を聞く生徒

## 保健体育 オンライン授業

5月30日（火）、オンラインで保健の授業が行われました。今回は、小菅中学校の関戸先生が授業をしてくださいました。

丹波中学校は小規模校ですが、非常勤の先生方やオンライン授業等、様々な教育手法を用いて各教科の学習を行い、コミュニケーション能力の向上を図っています。

生徒たちは慣れたもので、オンラインであっても積極的に挙手発言し、小菅中学校の生徒と一緒に授業を受けていました。IT機器の充実により、こうした学習が日常的にできています。



オンラインで授業を受ける生徒

## 舞茸工場見学

5月30日（火）、丹波小・中学校合同で、舞茸造りをしている丹波山倶楽部さんの工場を見学する機会を得ました。

舞茸についての学習は、丹波中学校のふるさと学習の中心です。児童・生徒は、丹波山倶楽部の青柳さんの話に聞き入り、舞茸について理解を深めていました。地域の皆さんのおかげで生徒のふるさと学習が充実しています。収穫までお世話になります。よろしく申し上げます。



青柳さんの話を聞く児童・生徒